

学習指導要領改訂に どう向き合うか

小学校学習ガイドラインを作成して見えてきたこと

2025年 **6月21日**  14:00～15:20 (13:50開場)

会場

東京学芸大学 **W110教室**

対象

教職員・学生・市民 (対面のみ/先着200名締切)

講師

ひら やま ひろ と
平山 裕人さん

歴史研究者の平山裕人は小学校学習ガイドラインを作成した。子どもにどのような学習内容がふさわしいのか。平山は元小学校教員(1981～2019)。全教科・領域を担当。4期の学習指導要領下の教科書の変遷もふまえた漸進的な改革案をまとめた。学校がつまらないという子どもの声。カリキュラム・オーバーロード。「それらは、こうやれば解決に向かう」という提案を得ていく。



※同日15:30～17:30同会場では東京学芸大学特別支援教育・教育臨床サポートセンターと公教育計画学会が共催する公開シンポジウム「学習指導要領改訂にどう向き合うか」も開催。現場の事実から学習指導要領の歩みを検証して、中央教育審議会における審議も視野に入れて、改定の課題を明確にすることが試みられる。よろしければ合わせてご参加ください。

参加される方はお名前ご所属等を受付担当大森直樹 (omori@u-gakugei.ac.jp) までご連絡ください